

自然学校での学び 5年生

先週、自然学校を無事に終えることができました。

今年度は以下のような活動を行いました。ここ2年間実施できなかった宿泊も1泊ではありましたが海泊で実施することができました。

山1日目	山2日目	海1日目	海2日目
5/30 (月)	5/31 (火)	6/2 (木)	6/3 (金)
自然の家	自然の家	スノーケル センター	円山川公苑
野外炊事	川の生き 物調べ	浜遊び	カッター・カ ヤック
焼杉体験	藍染体験	磯観察	カッター・カ ヤック

地域連合自然学校ですので、校長も担当日を決めて参加しました。私は海泊を担当し、最終日の子どもたちの活動を見守りました。

自然学校は、人は自然との



ふれあいの中で自然に感動し、豊かな感性や粘り強さなどを培うとともに、人とのふれあいを通して、思いやり、協調性、社会性などを身につけることをねらいとして兵庫県が独自に実施している取組です。



コロナ禍により他校との児童同士の交流が十分できないのは残念ですが、計画いただいた先生方やお世話いただいた様々な方々の協力により、子どもたちは体験を通して多くのことを学んだように感じまし



た。というのも閉校式での子どもたちの感想を聞いていますと、自然の中で活動できたことの他に「協力」や「この経験を活かすこと」などを伝える子が多かったように思います。



最終日、円山川公苑で行ったカッターでは、力を合わせて漕がないと船はなかなか前へは進んでくれません。また、3人乗りのカナディアンカヌーは水の上ではパドルを漕ぐと前へぐんと進みますが、陸に持ち上げ、格納するのは簡単ではありませんでした。その時も学校関係なく近くにいた子が力を合わせて運んでいました。



子どもたちが最後に片づけをする姿を見ていて、困っていたり、大変そうだったりしたら、力を合わせることができ、それが子どもたちの感想

で伝えていた「協力」する経験なんだと感じました。